

小浜市のチームオレンジの取り組みについて

小浜市高齢者福祉計画および
介護保険事業計画

65歳以上高齢者の4人に1人が認知症の人又は予備軍とされている

国は令和元年「認知症施策推進大綱」を策定、「共生」と「予防」を両輪とする施策を推進し、そのもとで令和7年までに全市町でチームオレンジを整備するよう目標が制定されています。市では、令和4年度よりチームオレンジ整備をすすめています。

認知症ケアの推進

- 認知症サポーター養成講座
H18～ サポーター数 約5,000人
- ほほえみサポーターズ(ボランティア団体)
H28 結成・活動開始
- 認知症カフェ(ボランティア団体)
H27～カフェぽーれ R1～おひさまカフェ



生活と生きがいづくりを支援

- 集いの場づくり支援モデル事業
100歳体操 約10ヶ所
- ふれあいサロン事業
市内 約110ヶ所



それぞれの取り組みの結果

- 認知症サポーターの増加
→地域の理解者の増加
→サポーターによる活動
- 通いの場やサロンの充実
→認知症サポーターが担い手としても参加

今後通いの場やサロンの中に
「認知症の人が一緒にいる」
ことが普通になってくる

「チームオレンジ」 R4～



認知症の方やその家族の支援ニーズと、認知症サポーターを中心とした支援をつなぎ、『認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくり』を目指します。

- ・ 相談先や専門機関へのつなぎ
- ・ 早期発見、早期支援としてのつなぎ
- ・ 認知症の人や家族を含む地域の高齢者が気軽に集う活動
- ・ 認知症への理解を深める学習や啓発
- ・ 集う場(より所)づくり など

チームオレンジ登録チームの活動紹介

ほほえみサポーターズボランティアグループ。
市内のサロンでの認知症の知識の啓発や予防の取り組み、自主的な学習や近隣住民の見守りなど。



認知症カフェ「カフェ・ぽーれ」

小浜地区のふれあいセンターを会場に、毎月第3金曜日に開催。歌や体操、笑いを提供した後、自由に歓談できる場を設けている。



認知症カフェ「おひさまカフェ」

遠敷地区のふるさと茶屋清右衛門にて、毎月第3火曜日に開催。音楽や笑いなどの提供とともに、お茶を飲みながら自由に歓談できる場を設けている。

